進級要件，プログラム選択及び卒業要件について（理学科）

１．進級要件について

１年次に通算して１年以上在学すれば２年次に進級できます。３年次に進級するためには，２年次を通算して１年以上在学し，プログラム選択要件を満たし，所属する学位プログラム（主専攻プログラム）が定めた進級要件を満たさなければなりません。４年次に進級するためには，３年次を通算して１年以上在学し，所属する学位プログラム（主専攻プログラム）が定めた進級要件を満たさなければなりません。

２．プログラム選択について

学位プログラム（主専攻プログラム）に配属されるためには、２年次１学期終了時までに「学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件」に記載されているすべての要件を満たす必要があります。２年次１学期終了時までに「学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件」を満たすことができなかった学生は，２年次２学期終了時に「学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件」を満たせば，配属学生数が受入れ上限に達していない学位プログラム（主専攻プログラム）のうち一つの学位プログラム（主専攻プログラム）に配属されます。２年次２学期終了時までに「学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件」を満たすことができなかった学生は，３年次に進級できません。推薦入学生およびフロンティア・スタディ・プロジェクト学生も学位プログラム（主専攻プログラム）へ配属されるためには学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件を満たす必要があります。

前期入試や後期入試で入学した学生が配属される学位プログラム（主専攻プログラム）は，２年次１学期終了時に実施する学位プログラム（主専攻プログラム）配属先希望調査の結果に基づき決定されます。一つの学位プログラム（主専攻プログラム）に対して配属希望学生が受入れ人数上限を超えた場合，*累積 GPA が上位の学生から優先的にその学位プログラム（主専攻プログラム）へ配属されます。フロンティア・スタディ・プロジェクトへの参加が認められた学生には，入学時に希望する学位プログラム（主専攻プログラム）への配属優先権が与えられます。ただし配属を希望する学位プログラム（主専攻プログラム）を変更する場合には，前期入試や後期入試で入学した他の学生と同じ手続きで配属されます。推薦入学生は，配属される学位プログラム（主専攻プログラム）を変更することはできません。

（*GPA の算出式については裏面を参照して下さい。）

学位プログラム（主専攻プログラム）選択要件

(1) 教養教育に関する授業科目を 17 単位以上修得していること
(2) 大学学習法(理学スタディ・スキルズ)2 単位を修得していること
(3) 自然系共通専門基礎科目を 8 単位以上修得していること
(4) 専門力アクティブ･ラーニング 2 単位または総合力アクティブ･ラーニング 2 単位を含めて，理学部共通ベーシック科目を 6 単位以上修得していること
(5) 卒業要件となる科目を 45 単位以上修得していること

３．卒業要件について

卒業要件は，卒業に必要となる条件です。卒業のために履修するべき科目，分野などが決まっています。それらを満たす科目の単位が卒業要件単位となります。卒業要件については，入学時に配付している「履修の手引」をご覧ください。なお，卒業要件は各入学年度によって異なります。必ず入学年度の資料を参照してください。

累積 GPA の算出式について

100 点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント（GP）は，次の計算式で算出されます。

$$\mathrm{GP} = \frac{\text{評価}-50}{10}$$

＜例＞85 点の場合，GP=(85-50)/10=3.5　となります。

ただし，59 点以下の場合は 0 となります。

累積 GPA は，次の計算式で算出されます。

$$\text{累積 GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数}\times\text{GP}\}\text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$